

一宮市立市民病院で血液透析またはPost On-line HDFを
受けておられる患者さん　またはご家族の方へ
臨床研究へのご協力をお願い

現在、「透析量モニタ（DDM）排液吸光度波形の減衰解析に基づく生体内物質動態の検討―HDとPost On-line HDFにおける2相性減衰挙動の比較―」に関する臨床研究を実施しております。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	透析量モニタ（DDM）排液吸光度波形の減衰解析に基づく生体内物質動態の検討
所属（診療科）	医療技術局 臨床工学室／腎臓内科
研究責任者（職名）	前田 純（臨床工学技士）
研究実施期間	倫理委員会承認日～2027年9月30日
研究の意義・目的	本研究の目的は、透析中の排液から老廃物を間接的に測定し、その変化のパターンから、体の中に溜まった様々な種類の老廃物がどのように抜けていくかを詳細に分析することです。より効率的な老廃物の除去パターンを分析し、一人ひとりに合わせた最適な透析治療の提供へと繋げることを目指します。
対象となる患者さん	当院で血液透析治療をされた患者さんを対象とします。
利用するカルテ情報	年齢、性別、原疾患、透析モダリティ、使用ダイアライザ、血流量、透析液流量、治療時間、補液量、spKt/V、DDM排液吸光度時系列データ等
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院 医療技術局 臨床工学室 〒491-8558 愛知県一宮市文京2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

本研究では、通常の診療において得られた診療記録（カルテ）や検査結果などの情報を利用して実施します。そのため、新たな診察や検査、検体の採取などは一切行いません。研究にあたっては、患者さんを直接特定できる個人情報（氏名、住所、IDなど）を削除・匿名化したうえで、統計的に処理・解析を行います。得られた研究成果は、医学・薬学の発展に寄与することを目的として、学会発表や論文投稿等に利用されることがありますが、個人が特定されることはありません。ご自身の診療情報等を本研究に利用されることをご了承いただけない場合は、研究対象とはいたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。ご自身が本研究の対象かどうか不明な場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。研究事務局で診療録等を確認し、対象かどうかをご説明します。研究への参加を希望されない場合は、お申し出以降、可能な範囲で研究への利用を中止します。なお、お申し出により診療上の不利益を受けることはありません。